

資本家階級の攻勢は日一日と鋭くなつてゐる。特に彼等は労働者農民の政治的勢力の結束に最大の恐怖を感じてゐる。ブルジョア政党内は一致して無産階級に對抗しつゝある。農民労働党の禁煙に際し、ブルジョア政府は成立過程がどつしたとか、綱領がどうしたとか、見戲に類する言を吐いたが、その真意は無産階級が政党内の形を於て結束するにこそ恐怖した故に外ならずない。前期議会上に治安維持法を制定したブルジョア議会は、今期議会上に於ては、過去十数年間に我々の兄弟が苦心惨憺して築き上げた全労働組合運動を一挙に破壊すべしと恐るべき三大悪法案——労働組合法、争議調停法並に暴力圍取締に美名をかりて争議を鎮壓せんとする暴威取締令——を制定しやうとしてゐる。更にブルジョア政党内は種々の流言を放ち、その傭兵を動員して、我が無産階級陣営の共同戦線を破壊し、同一線上の無産階級兄弟を離間し、分裂を策し、これを無力ならしめる狡猾な策戦を取つてゐる。経済上に於ても個々の資本家は次第

(三)

に團結し、労働階級に對するに統一の対策を以てせんとしつゝある。然かも我が無産階級の陣営内は、未だ無産政党内若くは組合總聯合の如き統一の團體無き結果、吾人の攻撃力が分散し、ブルジョア政党内に對し眞に力強き又神速なる對抗をなす能はざる状態にある。(三)

以上の如き状態に對し、我が無産階級の持らざるべきが、戦術は多々あるが、就中最も重大なるものは、労働組合の統一、無産政党内の結成及び未組織労働大衆の組織である。

我が評議會は常に労働階級の凡ゆる要木の柱に戦つてゐる。これを期する。されば我々労働階級の緊急の要求たる上、闘争方面は、同時に我が評議會の當面の最大なる闘争方面である。

一、労働組合の統一